

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	予防技術資格者養成事業	所管	消防本部 予防課
			TEL 2929-9121

事業の目的 (何の為に 行うか)	予防課同意グループ、査察グループ、危険物グループに各1名以上、更に中央消防署及び東消防署の消防課に各1名以上の予防技術資格者を配置する必要があるため、受検資格を有する職員に消防庁長官が指定する試験(予防技術検定)を受検させ予防技術資格者を養成していく。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	予防技術検定を受検した職員	対象とした数	3	人
		実際に 利用した数	3	人

活動の内容	(何を したか)	1 消防本部予防課に勤務する職員の中から予防業務1年以上の従事経験者を選出する。(1年の従事経験見込者を含む。) 2 予防技術検定を受検する。(検定の区分は、「防火査察」「消防用設備等」「危険物」の3区分について実施される。) 3 予防技術検定に合格する。 4 原則として予防業務に通算して4年以上従事する。(予防技術検定の受検資格となる1年以上の従事経験年数を含む。) 5 所沢市消防長から予防技術資格者認定証の交付を受ける。 (注)経過措置として予防技術資格者を円滑に配置するという観点から、平成23年3月31日までの間に一定の実													
		活動実績	項目名	予防技術検定受検職員数	3	単位	人	項目名	予防技術検定合格職員数	3	単位	人	項目名	予防技術資格者認定数	2

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	16	16	1,425	4.2

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	予防技術検定合格率	予防技術検定合格職員数 / 予防技術検定受検職員数	100 単位 %	100 単位 %	100.0 単位 %

今後の方向性 (所管の意見)	総合評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 改善・効率化 * 改善余地なし その他 []				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の方向性 (二次評価の意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [] 終了				
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当	部課コード	100200	TEL	2929-9121																																																																				
事業コード	100205	予防技術資格者養成事業	消防本部	予防課																																																																						
開始年度	平成 17 年度	—	終了年度	平成 年度																																																																						
開始年度		平成 17 年度	—		終了年度	平成 年度																																																																				
事業の種別		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令																																																																					
分野別計画・指針		なし				1 消防力の整備指針第34条第3項																																																																				
関連・類似事業		なし				2 所沢市予防技術資格者の認定に関する事務処理要綱																																																																				
総会計の体系		政策	第6章 みんなが安心して暮らせるゆとりあるまち	施策	1節 消防・救急	中柱	2 火災の予防																																																																			
						小柱	(2) 予防査察体制の強化																																																																			
		・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 13 位				・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○																																																																				
行政改革大綱における行動計画への位置づけ																																																																										
コード	2211	組織マネジメントの導入	コード	3621	事務改善活動等の充実・強化	コード																																																																				
事業開始の背景		消防機関が実施すべき予防業務が、高度化・多様化しており、特に消防用設備等に係る性能規定化の導入、防火対象物に係る違反処理の推進、危険物規制業務の増加、防火対象物定期点検報告制度の導入などを踏まえ、円滑に業務を遂行するためには、より専門的で高度な知識及び技術を有するものとして、消防庁長官が定める資格を有する予防技術資格者を消防本部及び消防署の火災の予防を担当する係又は係に相当する組織に1名以上配置するものと規定された。																																																																								
③事業の内容		<p>目的(何のために行つか、具体的に)</p> <p>予防課同意グループ、査察グループ、危険物グループに各1名以上、更に中央消防署及び東消防署の消防課に各1名以上の予防技術資格者を配置するため、受検資格を有する職員に消防庁長官が指定する試験(予防技術検定)を受検させ予防技術資格者を養成していく。</p> <p>対象(誰を、何を対象としているのか)</p> <p>利用数の考え方</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">予防技術検定を受検した職員</td> <td colspan="2">予防技術検定に合格した職員</td> </tr> <tr> <td>対象数</td> <td>単位</td> <td>平成 18 年度</td> <td>0 人</td> <td>利用数</td> <td>単位</td> <td>平成 18 年度</td> <td>0 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>平成 19 年度</td> <td>3 人</td> <td></td> <td></td> <td>平成 19 年度</td> <td>3 人</td> </tr> </table> <p>事業の具体的な内容及び実施方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 消防本部予防課に勤務する職員の中から予防業務1年以上の従事経験者を選出する。(1年の従事経験見込者を含む。) 2 予防技術検定を受検する。(検定の区分は、「防火査察」「消防用設備等」「危険物」の3区分について実施される。) 3 予防技術検定に合格する。 4 原則として予防業務に通算して4年以上従事する。(予防技術検定を受検資格となる1年以上の従事経験年数を含む。) 5 所沢市消防長から予防技術資格者認定証の交付を受ける。 <p>(注)経過措置として予防技術資格者を円滑に配置するという観点から、平成23年3月31日までの間に一定の実務経験等を有する職員については、予防技術資格者と見なすことができると規定されており、平成18年度は同規定により25名の職員が予防技術資格者の認定を受けている。</p>						予防技術検定を受検した職員		予防技術検定に合格した職員		対象数	単位	平成 18 年度	0 人	利用数	単位	平成 18 年度	0 人			平成 19 年度	3 人			平成 19 年度	3 人																																															
予防技術検定を受検した職員		予防技術検定に合格した職員																																																																								
対象数	単位	平成 18 年度	0 人	利用数	単位	平成 18 年度	0 人																																																																			
		平成 19 年度	3 人			平成 19 年度	3 人																																																																			
④前年評価と改善点		<p>平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >></p> <p>総合評価 <input type="checkbox"/> 事業の継続 => (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())</p> <p><input type="checkbox"/> 終了 => (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)</p> <p>予算 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了</p> <p>平成19年度中に改善した点</p> <p>平成18年度は予防技術検定を受検した職員はいなかったが、平成19年度は3名の職員が受験し全職員が合格した。</p>																																																																								
⑤経費		<table border="1"> <tr> <th>《会計種別》</th> <th>一般会計</th> <th>平成 18 年度 (千円)</th> <th>平成 19 年度 (千円)</th> <th>平成 20 年度 (千円)</th> </tr> <tr> <td>当初予算</td> <td></td> <td>0</td> <td>16</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>決算 (見込み含む)</td> <td></td> <td>0</td> <td>16</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(嘱託職員) (臨時職員)</td> <td>(人) (人) (人) (人)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>正規職員人件費</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.15 人</td> <td>1,409</td> </tr> <tr> <td>公債費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費合計</td> <td></td> <td>0</td> <td>1,425</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">財源内訳</td> <td>一般財源</td> <td>0</td> <td>1,425</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>受益者負担金</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市債</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民一人当たり(単位:円)</td> <td></td> <td>0.0</td> <td>4.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用数一単位あたり(単位:円)</td> <td></td> <td>#DIV/0!</td> <td>475,033.3</td> <td></td> </tr> </table> <p>※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。</p>						《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	当初予算		0	16	22	決算 (見込み含む)		0	16		(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人) (人) (人)				正規職員人件費		人	0.15 人	1,409	公債費					事業費合計		0	1,425		財源内訳	一般財源	0	1,425	22	国・県支出金				受益者負担金				市債				その他					市民一人当たり(単位:円)		0.0	4.2		利用数一単位あたり(単位:円)		#DIV/0!	475,033.3	
《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)																																																																						
当初予算		0	16	22																																																																						
決算 (見込み含む)		0	16																																																																							
(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人) (人) (人)																																																																									
正規職員人件費		人	0.15 人	1,409																																																																						
公債費																																																																										
事業費合計		0	1,425																																																																							
財源内訳	一般財源	0	1,425	22																																																																						
	国・県支出金																																																																									
	受益者負担金																																																																									
	市債																																																																									
その他																																																																										
市民一人当たり(単位:円)		0.0	4.2																																																																							
利用数一単位あたり(単位:円)		#DIV/0!	475,033.3																																																																							

⑥指標	活動実績	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
		予防技術検定受検職員数	予防技術検定を受検した職員数	人	0	3	3	
		予防技術検定合格職員数	予防技術検定に合格した職員数	人	0	3	3	
		予防技術資格者認定数	予防技術資格者認定証の交付を受けた職員数	人	25	2	3	
成果分析	予防技術検定合格率	予防技術検定合格職員数 / 予防技術検定受検職員数	%	目標値	0	100		
				実績	0	100		
				達成率	****	100.0		
		実績値の拡大を図る1		実績値の縮小を図る2		1		

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	<p>事業の対象を見直す必要性</p> <p><input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし</p>	実施主体	<p>現在の実施主体</p> <p>市</p> <p><input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>
他事業との整理・統合	<p>類似・関連事業などとの整理・統合</p> <p><input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業 <input type="checkbox"/> 統合等 <input type="checkbox"/> 必要なし</p>	受益と負担の関係	<p>受益者負担の有無</p> <p><input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>	見直しの必要性
	<p>明らかとなった課題</p> <p>予防技術資格者の資格については、予防技術検定を受検資格を有する職員が当該検定に合格し、かつ、受検区分に応じた一定期間の実務経験が必要であることから、職員の配置等を含め計画的に養成していく必要がある。</p>			
評価	<p>今期目標項目(何を)</p> <p>平成20年度における目標設定</p> <p>高度化・多様化する予防業務を円滑に遂行する。</p>	<p>達成水準(どこまで)</p> <p>より専門的で高度な知識及び能力を有する予防技術資格者を養成する。</p>	<p>時期(いつまで)</p>	
	<p>平成21年度における事業の方向性</p> <p>総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 => (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())</p> <p><input type="checkbox"/> 終了 => (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)</p>	<p>予算</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了</p>		
<p>評価理由</p> <p>建築物の大規模化・複雑化に伴う予防業務の高度化・専門化に対応するため、予防体制の充実強化を目的として予防技術資格者の制度が定められたが、予防技術資格者の認定を受けるには、予防技術検定を受検資格を有する職員がこの検定に合格し、かつ、原則として予防業務に通算して4年以上の従事経験を必要とすることから、この事業を継続し予防技術資格者を養成していく。</p>				
<p>評価日 平成20年4月28日 記入者職氏名 予防課長 木下 雅孝</p>				

⑧二次評価	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性			
	<p>総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 終了</p> <p>予算 <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了</p>				
評価	<p>次年度用事前評価</p> <p>部内優先順位… 位</p> <p>非常に高い 高い やや低い 低い</p>	<p>優先度</p> <p><input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業</p> <p><input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業</p> <p><input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業</p>			
	<p>見込まれる貢献度</p> <p>総合計画上位目標 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <p>市長マニフェスト <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p>				
<p>評価理由</p> <p>評価日</p>					

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画		本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード			
	施策の体系	施策の方向					
◎次世代育成支援行動計画		本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード			
基本目標							
主要課題							
施策の方向							